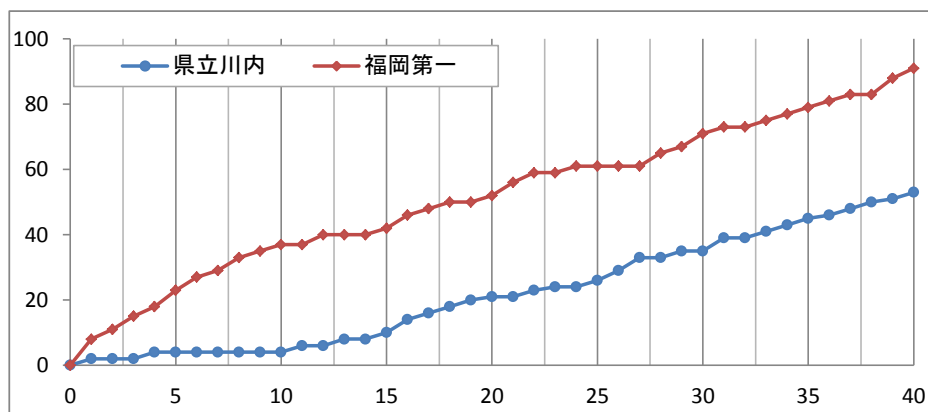


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 2回戦	県立川内 53	91	福岡第一
主審 稲葉 威	(鹿児島) ●	○	(福岡)
副審 中島 弘幸			

No. 30f2 日時: 2013年7月30日(火) 11:40 会場: 大分県立総合体育館



県立川内

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	押川 拓朗	0	0	0	0	0
5	松永 晃佑	2	0	1	0	1
6	福山 雄大	3	0	1	1	1
7	* 富迫 周悟	0	0	0	0	0
8	井上 心	2	0	1	0	0
9	土器手 康晴	8	1	2	1	1
10	松田 龍逸	0	0	0	0	0
11	* 須留原 健 (C)	5	0	2	1	0
12	* 鎌迫 諒太	6	0	2	2	0
13	* 堤 昂大	2	0	1	0	3
14	松本 征樹	8	0	3	2	3
15	* 平野 健斗	17	0	6	5	3
コーチ	田中 俊一					
合計		53	1	19	12	12

福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 田口 航 (C)	15	0	7	1	1
5	* 奥野 功知	4	1	0	1	0
6	* 時田 康佑	20	5	2	1	0
7	大坪 真吾	6	0	3	0	3
8	* 濱田 健太	11	1	4	0	0
9	三枝 幹司	0	0	0	0	1
10	* エルビン・ニャン	2	0	1	0	2
11	秋山 皓太	7	1	2	0	2
12	張 効広	6	0	3	0	0
13	城間 建伍	8	0	4	0	0
14	井手 優希	4	0	2	0	3
15	河野 佑太	8	0	3	2	0
コーチ	井手口 孝					
合計		91	8	31	5	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド、九州勢同士の対決は、互いにハーフコートマンツーマンDefでスタートするが、福岡第一#6の3Pシュートがたて続けに炸裂し一方的な展開。県立川内は3分過ぎにたまたまタイムアウトを取るが流れは変わらないまま、またアウトサイドシュートが決まらず、リバウンドを支配され速攻でも得点を許し37-4の大差で福岡第一がリードして終了。第2ピリオド、福岡第一はスタートメンバーを温存するが、速攻やゴール下で着実に得点を加えていく。県立川内は#15のゴール下や#14の2Pシュートが決まりだし、ようやく攻撃のリズムを取り戻すがなかなか得点差を縮めることはできない。52-21で福岡第一のリードのまま前半を終了する。

第3ピリオドに入り県立川内はオールコートマンツーマンプレスDefを仕掛けて速い展開の攻撃へつなげようと懸命に試合のリズムをつかもうとするが、福岡第一もゴール下リバウンドを確実に取って速い攻撃を展開するなどお互い一進一退の状況が続き、71-35で終了。第4ピリオド、県立川内は引き続きプレスを仕掛け、攻撃では#15のゴール下、#9の速攻などリズムよく得点を加えることができ始めたが、福岡第一もリバウンド、速攻で対抗。序盤からの点差はほとんど変わることなく91-53で福岡第一が勝利し、3回戦進出を決めた。

記者 菅原 信之 (所属) 大分県バスケットボール協会